

まきのはら暮らしサポート制度の状況について(1月31日現在)

1 移住定住促進空き家・空き地バンク

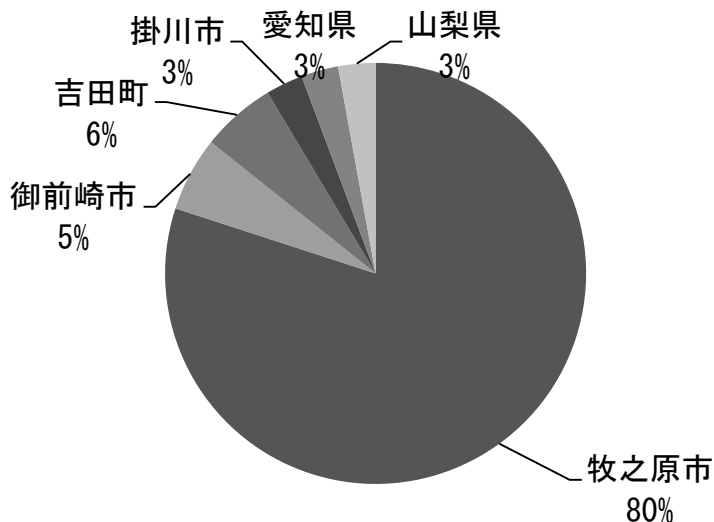
<傾向・分析>

- ・ 利用申込は5件の内、契約が成立した物件は2件(静岡市、掛川市からの移住)、交渉中が2件(菊川市、島田市の移住希望)
- ・ 利用申込を必要としない空き家・空き地バンクを介さずに契約が成立した物件が2件
- ・ 空き家・空き地バンクでは、必ずしも良質な物件が流通するものではない。築年数ではなく、**値頃感、手軽さ(自分で手を入れられる感覚)**のある物件に対して問い合わせが多い。
- ・ 登録される物件は、浸水区域が多いということはない。

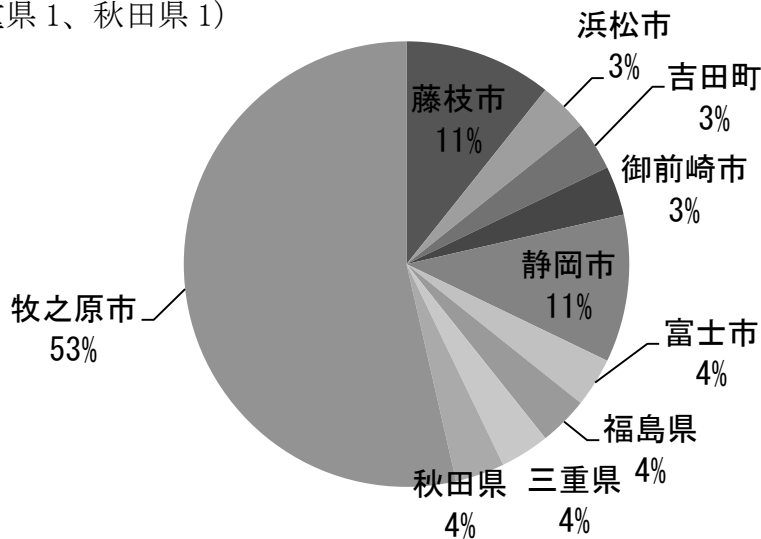
2 子育て家族定住奨励金

<傾向・分析>

- ・ 35件の内訳は、新築が26、中古が9
→ 良質な物件をリフォームして、全体取得額を少なくしている。子育て世帯には、良質な中古物件も流通する。
- ・ **子ども59人(転入11人)、自動車10台(約2,200万円の経済効果)**
- ・ 前居住地が市外の世帯は7件、約20%(移住)
(御前崎市2、吉田町2、掛川市1、愛知県1、山梨県1)



- 前居住地が市内の世帯の内、転入前の住所地が市外は 13 件、約 46%
(藤枝市 3、浜松市 1、吉田町 1、御前崎市 1、静岡市 3、富士市 1、福島県 1、三重県 1、秋田県 1)



→ **定住に繋げるためには、まずは市内に住んでもらう取組が必要**

- 牧之原市を居住地として選んだ理由（複数回答可）
(実家が近い 26、知人・友人がいる 21、勤務先が近い 18)
- **地縁関係（友人、子ども、ママ友、近所づきあいコミュニティ）、雇用の場が必要**
- 他に居住を考えた市町はあるか・・・14 件
(島田 3、藤枝 2、吉田 5、御前崎 2、その他 2)
- 内、10 件が市内に居住していた方であったので、**10 件の社会減が押さえられたのではないかと考えられる**
- 他市町と比較をするところ
(子育て施策 14、土地の価格 17) → **更なる子育て施策のPRが必要**

3 結婚新生活支援助成金

<傾向・分析>

- 申請件数 8 件（新婚夫婦 16 人）中、9 人が市外からの転入
- 居住地を選んだ理由などは、母数が少ないため明確ではないが、子育て家族定住奨励金と同様の傾向
- **結婚を機に新たにアパートなど賃貸物件に居を構えることが多いので、この時点で**牧之原市を選択してもらえる施策や魅力・情報発信が必要****

4 空き家活用リフォーム等補助金

<傾向・分析>

- 空き家・空き地バンクの利用が前提条件なので申請がないが、1 件（静岡市からの移住者）が事前協議中

平成28年度

政策協働部企画課

まきのはら暮らし サポート制度等 利用状況 整理簿

平成28年4月1日～平成29年1月31日現在

	項目	登録申込件数		内、現在登録中		内、登録準備中		利用申込件数		内、成立		内、不成立		閲覧等件数	
		空き家	空き地	空き家	空き地	空き家	空き地	空き家	空き地	空き家	空き地	空き家	空き地	HP	来庁
1	移住定住促進空き家・空き地バンク	23	13	13	12	2	0	5	0	2	0	1	0	3,045	9

※登録申込件数には、抹消・中止を含む

※利用申込件数には交渉中を含む

	項目	問い合わせ等 (概ね)	申請件数	内、審査中	内、交付決定済	
				件数	件数	交付額(千円)
2	子育て家族定住奨励金	125	35	0	35	26,400

	項目	問い合わせ等 (概ね)	申請件数	内、審査中	内、交付決定済	
				件数	件数	交付額(千円)
3	結婚新生活支援助成金	41	8	1	7	1,165

	項目	問い合わせ等 (概ね)	申請件数	内、交付決定済		事前協議 件数
				件数	交付額(千円)	
4	空き家活用リフォーム等 補助金	21	リフォーム	0	0	1
			残置物の処理	0	0	1